

## 職員団体との交渉議事要旨

(開催日時)

令和元年8月2日(金) 15:02～15:58(56分間)

(開催場所)

札幌開発建設部 4階3号会議室

(出席者)

当局側(札幌開発建設部)

村津 敏紀(札幌開発建設部次長)、遠藤 淳也(職員課長)

職員団体側(全北海道開発局労働組合札幌支部)

横内 智子(書記長)、坂口 透(執行委員)、片山 勝範(執行委員)、  
金子 歩(執行委員)

(議題)

### 【2020年度勤務条件改善に関する要求書関係】

1. 当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について
2. 当部における心の健康づくりに関する復職支援の推進について
3. 当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、交渉議題として取り決めた事項について回答

(要旨)

### 【議題1. 当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について】

(職員団体)

男性職員が育児休業等を取得できるようにするための取組について聞きたい。

(当局)

育児休業等の両立支援制度については、機会あるごとに職員に周知している。男性職員が育児休業等を取得しやすいよう、業務処理の方法や業務分担の見直し、人員配置の変更など、引き続き必要な措置を講じていきたい。

(職員団体)

育児休業等の両立支援制度について、職場内で制度を利用しやすい雰囲気が浸透していないのではないかと聞きたい。

(当局)

制度を利用しやすい雰囲気づくりや、育児休業等を取りやすい職場環境づくりに努めるよう、引き続き管理者を指導していきたい。

### 【議題2. 当部における心の健康づくりに関する復職支援の推進について】

(職員団体)

人事院の健康相談調査によると、内部カウンセリングは受けにくいとの意見がある。外部カウンセリングの充実を図り、相談したいときにいつでも相談できる環境を作ることが必要であると考えるがどうか。

(当局)

管理者がカウンセリングが必要と判断した職員には、外部カウンセリングを受けてもらったり、体験カウンセリングを利用してもらっている。また、健康管理医による心の健康相談も利用されている。

引き続き、内部カウンセリングも含め、カウンセリングを受けやすい職場環境作りに努めていきたい。

### 【議題3. 当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について】

(職員団体)

職員からは、ハラスメントに関する相談をしづらい職場環境であるとの声がある。ハラスメントに関する相談をしやすい職場となるよう、管理者の指導を徹底してもらいたい。

(当局)

ハラスメントは、職員の人格と尊厳を侵害し、勤労意欲を減退させるなど、職場全体に悪影響を及ぼすものである。ハラスメント防止への取組は非常に重要であると認識しており、管理者への指導を実施してきているところである。引き続き、ハラスメントのない職場環境はもとより、相談しやすい職場作りに努めていきたい。

なお、ハラスメントと疑われるケースがある場合には、適切に対応していきたい。

※文責は札幌開発建設部当局（今後修正があり得る）